

非戦平和コース

名所

東本願寺沖縄別院／那覇空港／真教寺／県庁・国際通り／首里城
まなざし聞法塾・しげま小児科医院／辺戸岬／万座毛／沖縄美ら海水族館

沖縄菩提樹苑

2003年にインドのサルナートの釈尊ゆかりの菩提樹から「沖縄戦戦没者の慰霊と平和」のために分木され、翌年に植樹された。仏教徒として、沖縄平和学習の折には、ぜひ訪問したい場所。



ひめゆりの塔

沖縄師範学校女子部・県立第一高等女学校の学生たちの「慰霊塔」。平和であることの大切さを訴えるための「平和祈念資料館」は独自運営されている。



魂魄の塔

戦後最初に出来た慰霊塔で、実質的な沖縄県民の「慰霊塔」といわれる。6/23「慰霊の日」には多くの人が訪れる。真教寺の故田原性信氏がその建立に多大な貢献をした。



平和の礎

「沖縄のこころ」を「人間の尊厳を何よりも重く見て、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心」として設立されている。一方隣接する「摩文仁の丘」には各県の慰霊塔がある。



アブチラガマ(糸数壕)

戦争中、陣地壕、病院壕として使用された。戦争の追体験が出来るガマ(洞窟)として平和学習で訪問できる。*要平和ガイド

ひめゆりの塔
沖縄菩提樹苑
魂魄の塔

●名所は青
●平和学習コースは赤



彫刻家・金城実アトリエ

琉球王朝から現代までの民衆を描く作品を創作。また、琉球親鸞塾はこのアトリエに設置されている。

嘉手納基地

太平洋地域最大の米空軍基地。日常的に最新鋭の軍用機が離着陸する。隣接して「嘉手納弾薬庫」があり、地下でつながっている。

辺野古

普天間基地の移設先として新たな基地を建設しようとしたが、反対運動のため進まなかった。現在は反対派の市長が誕生し、その行く末が注目されている。建設予定地だった海はジュゴンも現れる。

国立ハンセン病療養所「沖縄愛楽園」

県内には2箇所のハンセン病療養所がある。沖縄はハンセン病の隔離政策が厳しかった場所で、現在も病気は完治しているが、ここで生活せざるを得ない人々が存在する。

佐喜真美術館

「生と死」「苦悩と救済」「人間と戦争」をテーマに作品が展示されている。丸木位里、俊作の『沖縄戦の図』が常設展示。「お寺のようなもの想う空間」をコンセプトとして創られている。

チビチリガマ・シムクガマ

チビチリガマは集団強制死が起きた場所である。一方すぐ近くのシムクガマでは起きなかった。

普天間基地
海兵隊の航空部隊の基地。住宅地のど真ん中にある。2004年8月、周辺の沖縄国際大学に落ちた米軍のヘリはこの基地所属。沖縄別院もこの基地の周辺にある。



別院周辺 MAP



東本願寺沖縄別院

